



〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11-8 武蔵野ビル 5F
Tel: (03) 5282-3730 Fax: (03) 5282-0017
e-mail: office@dpi-japan.org
URL: http://www.dpi-japan.org



平成 30 年 4 月 23 日

三田市長 森哲男 様

三田市障害者監禁事件に関する要望書

特定非営利活動法人 DPI (障害者インターナショナル) 日本
議長 平野み

私たち DPI (障害者インターナショナル) 日本会議は全国 97 の障害当事者団体から構成され、障害の種別を越え障害のある人もない人と共に生きられる社会の実現に向けて運動を行っている団体である。

兵庫県三田市において 42 歳の男性障害者が自宅敷地内プレバブで檻に監禁された状態で発見されるといって極めて衝撃的な事件が起きた。報道によると、男性は 25 年以上もの間、実の父親により檻に断続的に閉じ込められた状態に置かれていた。父親は監禁罪容疑で逮捕された。

三田市健康福祉部障害福祉課は、1 月 16 日に福祉関係者からの通報を受けながらも被害者を直ちに病院搬送することなく、警察への通報も 1 ヶ月先伸ばしにしたことなどについて市議会や記者会見で対応の不備を追及されている。

これを受け、森哲男三田市長は事件検証のための第三者委員会の設置を発表し、また井戸敏三兵庫県知事は県が参加することを表明した。

これらの経緯を踏まえ、以下の事項について緊急に要望する。

1. 速やかに三田市と兵庫県の担当責任者は被害者本人を見舞い、誠意を持って謝罪すること。また、市の対応の不備の原因について究明し、公に説明と謝罪をすること。
2. 事件検証のための第三者委員会の構成委員については障害当事者を中心に据えること。その際、障害当事者の意見の偏向が生じないよう、障害者自立生活運動を通し障害者の権利擁護と地域移行推進に携わり、国連障害者権利条約および障害者差別解消法など障害者に関する国内法を熟知している者を人選すること。DPI 日本会議は、三田市の委員においては、社団法人 自立生活センター三田代表・吉田みち氏を推薦する。
3. 障害者の支援・救済目的をうたい、また事件再発防止対策として、洲本 5 人殺害事件への対応として導入された「兵庫県の精神障害者継続支援体制」、相模原障害者殺傷事件への対応として国会に上程された「精神保健福祉法改正案」のような、障害者への管理・監視システムを強化し障害者の地域移行を妨げる人権侵害を行わないこと。

以上